

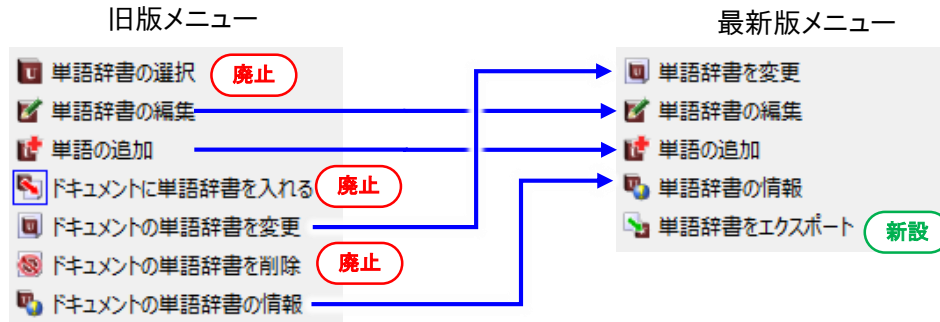
ChattyInfty3(Ver3.05)修正項目

2015/12/25

1. 単語辞書機能の変更(AITalk 版のみ)

AITalk版は単語辞書を常にドキュメントに含めて管理する(「ドキュメントに単語辞書を入れる」がONの状態)仕様に変更になりました。

(1). この変更に伴い設定メニューの一部の表記を変更しました。メニューの変更は下記のとおりです。

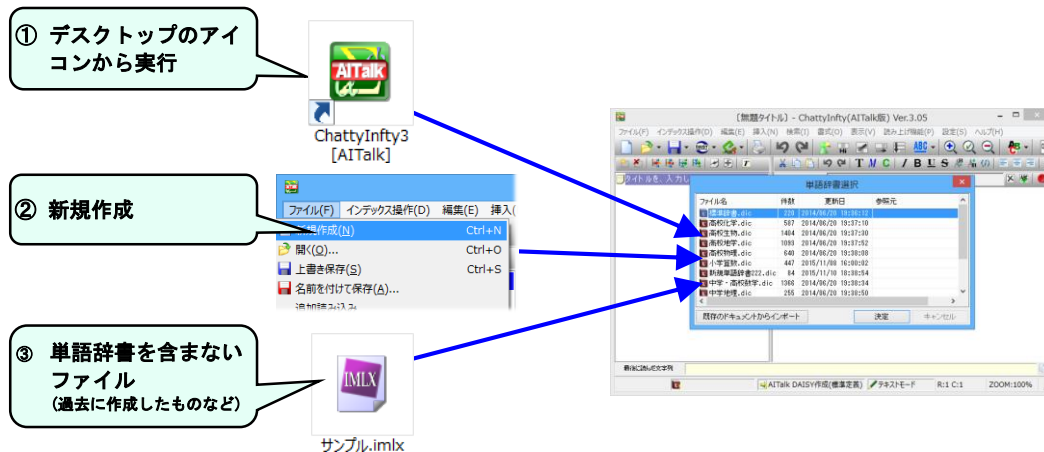


(2). 単語辞書のエクスポート機能(新設)に関して

最新版ではドキュメントに含まれる単語辞書に対してのみ追加や編集が可能です。ChattyInftyのシステム単語辞書(選択画面の一覧に表示される単語辞書)自体を変更することは出来ません。

ユーザーが独自に編集した単語辞書をシステム辞書に追加したい場合は、このエクスポート機能を利用して、任意の名前で単語辞書を保存してください。既存の単語辞書と同じ名前で上書き保存した場合は、ChattyInftyのプログラム更新(再インストール)時に上書きされて元の状態に戻ってしまう(任意の編集内容が消えてしまう)場合がありますのでご注意ください。

(3). 仕様変更により下記の3通りの場合に自動的に単語辞書選択画面が表示されます。

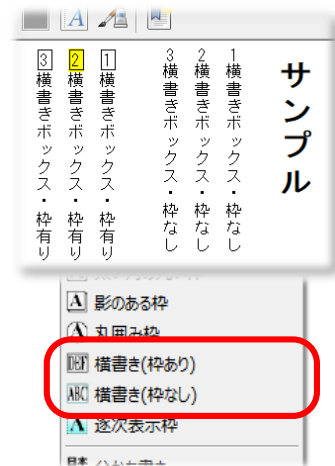


2. 横書きボックス機能

横書きボックスは、縦書き形式でDAISY出力した時に、指定範囲のテキストを横書きで表示します。

横書きボックスは、枠ありと枠なしの2種類があり、DAISY出力結果のサンプルは右図のようになります。

横書きボックスの指定方法は、通常の枠囲みと同じように、書式メニューの枠線か、編集画面のツールバーから、「横書き(枠あり)」「横書き(枠なし)」を選択します。



※「横書き(枠あり)」は、他の枠囲み指定と同様に前後のテキストとは[ハイライト分割して読み上げ](#)ます。

3. 複数行の枠囲み(グループボックス)機能

書式メニューの「複数行のボックス」で、複数行に渡る枠囲みを設定できます。

① 編集画面で複数行を選択します。

② 書式メニューから「複数行のボックス」を選択します。
ショートカットキーは **Alt+Ctrl+G**

③ 枠のスタイル設定画面が表示されますので、任意の値を設定してOKをクリックします。



※ 一旦設定したボックスのデザインを変更するには、書式メニューの「複数行のボックスの設定」をクリックします。

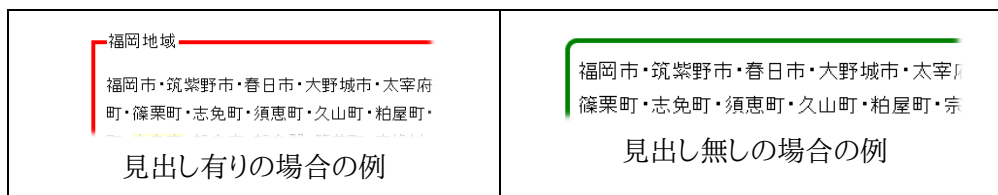
※ 枠囲み指定を解除するには、枠が込の範囲内で再度「書式」メニューから「複数行のボックス」を選択するか、**Alt+Ctrl+G**で解除します。

複数行の枠囲みは、1行目にテキストを設定すると、DAISYで枠囲みの見出しになります。

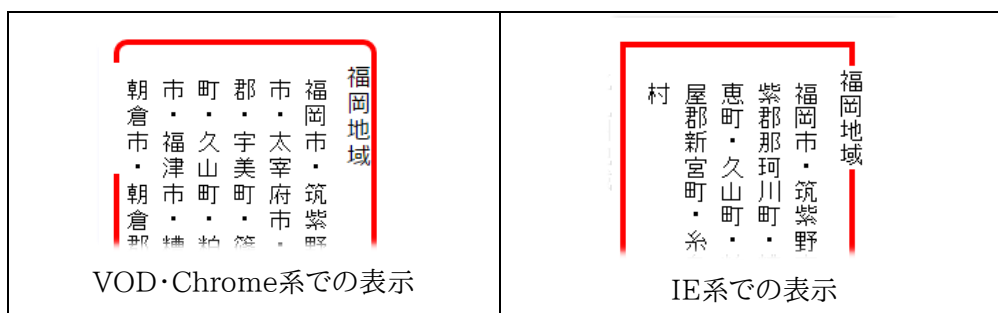
1行目にテキストを設定しない場合は、選択範囲の外側の枠囲みとしてDAISY出力されます。

【注意事項】

見出しを設定した枠囲みの場合は、AMIS・EasyReader・ChattyBookcaseなどWindowsのInternetExplorerを利用したDAISYビューアでは、丸みのない四角い枠として表示します。(IEがサポートしていないため、角の丸みが表示できません。)



また、見出しが有る枠囲みを縦書きで出力した場合、AMIS・EasyReader・ChattyBookcaseでは正しく表示されます(角は四角です)が、VODやChattyBook形式にしてGoogle Chromeで開いた場合は、正しく表示されません。

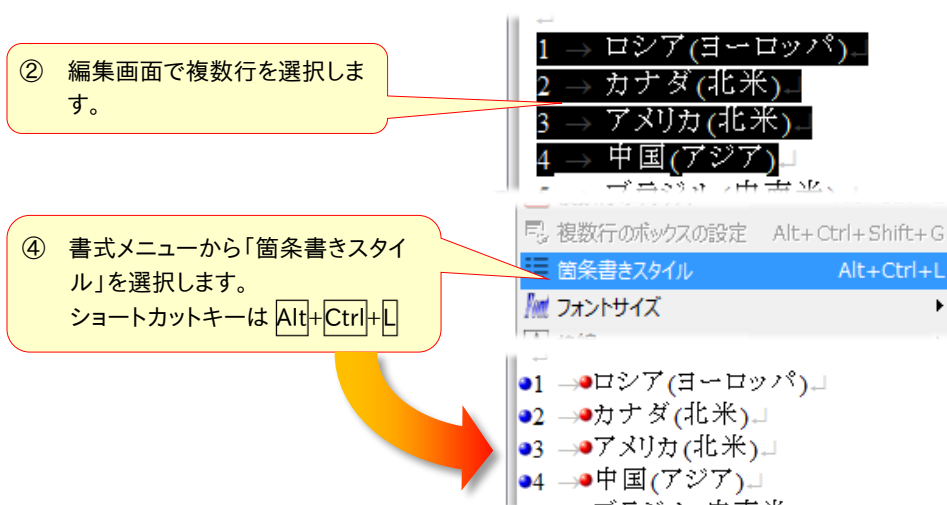


※ この機能はDAISY・EPUB3コンテンツの制作を目的とした機能です、ChattyInfy3からの印刷・Word出力等には対応していません。

4. 箇条書き(リスト)スタイル機能

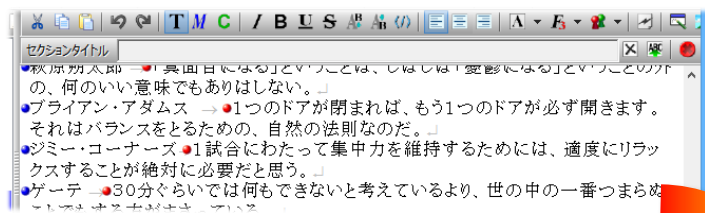
書式メニューの「箇条書きスタイル」で、複数行に渡る範囲を箇条書き形式で DAISY2.02 / EPUB3 出力することが出来ます。

箇条書きスタイルの行は先頭に●印が表示されます。箇条書きの見出しとテキストはタブで区切ってください。(タブ区切りの先頭には●印が表示されます。)

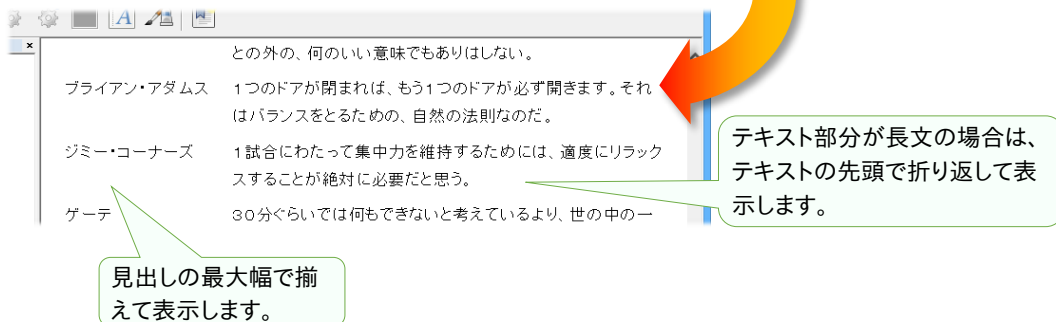


■ リスト形式の出力例

・ChattyInfty 編集画面



・AMIS 表示画面

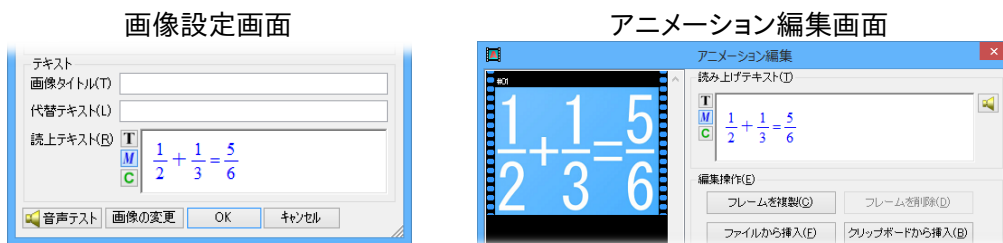


※ この機能はDAISY・EPUB3コンテンツの制作を目的とした機能です、編集画面上でのリスト表示には対応していません。またChattyInfty3からの印刷・Word出力等には対応していません。

※ Wordの箇条書き機能と異なり、自動採番などは出来ません。

5. 画像・アニメーションで数式入力

画像設定・アニメーション編集画面で、数式入力による読み上げテキストの設定に対応しました。



※ テキストモードと数式モードの切り替えは、**T**・**M**のボタンか、Ctrl+スペースで切り替えます。

※ **C** 化学式モードの切り替えにショートカットはありませんので、ボタンで切り替えてください。

※ 入力画面は読み上げを設定するためのもので、書式設定などの高度な編集機能はありません。

※ 数式が長い場合などは、画面のサイズを任意に変更して使用ください。

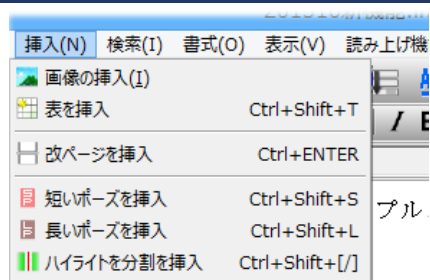
6. 画像・アニメーション・読み設定で数式入力

画像設定画面に **音声テスト** ボタンを追加しました。アニメーション編集画面と同じように設定した読み上げテキストの再生テストが可能です。

7. 挿入メニューの新設

挿入メニューを新たに設けて、編集メニュー内に含まれていた一部の項目を挿入メニューに移動しました。

挿入メニューの項目は右図のとおりです。

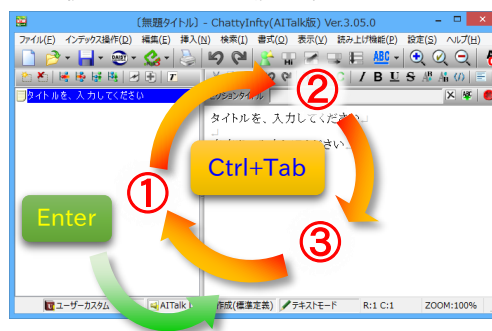


8. フォーカス移動の順番とショートカットの変更

インデックス画面と編集画面のフォーカス移動の順番を変更し、従来あった F6 キーによる切り替えを廃止しました。(F6 キーは数式入力モードで根号入力と重複してしまうため廃止)

フォーカスの切り替えは、Ctrl+Tab キーで行い、移動順番は、インデックス画面→セクションタイトル→編集画面の順番です。 Ctrl+Shift+Tab キーで逆順にフォーカスを切り替えます。

また、インデックス画面にフォーカスがある場合に、Enter キーを押すとダイレクトに編集画面へフォーカスを切り替えることが出来ます。

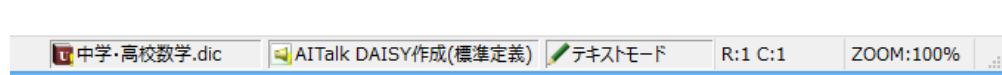


※ 読み上げテキストバーなどを画面下部に表示している場合は、それらも含めた移動順番となります。

9. 単語辞書に関する仕様変更

1. AITalk 版では、コンテンツの新規作成した場合に単語辞書選択画面を表示するようにしました。

2. 画面下部にコンテンツが使用中の単語辞書と読み上げ定義を表示するようにしました。



※ 単語辞書や読み上げ定義の部分をクリックすると夫々の設定メニューを表示することも出来ます。

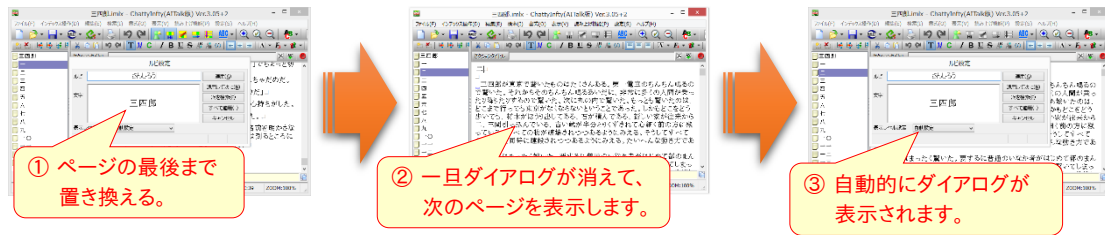
※ SAPI5 版では、読み上げ定義のみが表示されます。

※ 編集画面がテキストモードの時のみ表示されます。(数式モードでは F5 から F9 までの数式入力コマンドが表示されます。)

10. ルビ/読み設定で次のページへ移動

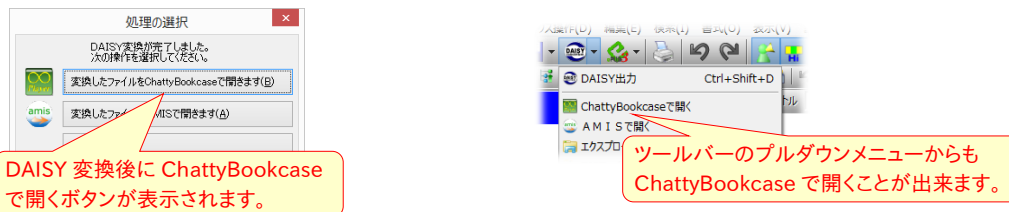
ルビ/読み設定画面の適用して次へ(N)ボタンで最後まで置換した後、もう一度ボタンを押すと、次のページに移動出来るようになりました。

※ダイアログが一旦終了し、編集画面が次のページに切り替わった後で、再度ダイアログが開かれます。



11. DAISY/EPUB 出力を ChattyBookcase で開く

DAISY/EPUB変換後の画面で、ChattyBookcaseで開くのボタンを追加しました。



※ボタンやメニューはPCにChattyBookcaseがインストールされている場合にのみ表示されます。

12. DAISY 出力形式の変更と EasyReader オプション

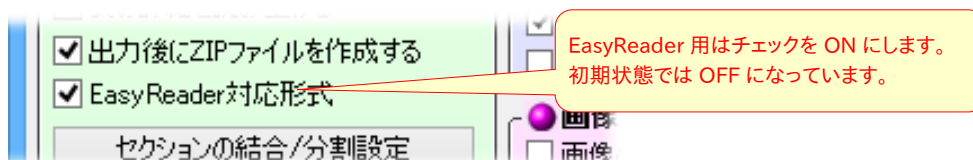
DAISY出力の出力設定の選択項目の名称を変更し一部を廃止しました。

旧バージョン		最新バージョン
ChattyBook/AMIS/VOD用(ゴシック)	名称変更	1.標準設定(ゴシックフォント)
ChattyBook/AMIS/VOD用	名称変更	2.標準設定(フォント指定なし)
EasyReader用	廃止	
VOD(縦書き)		VOD(縦書き/ゴシックフォント)

■ EasyReader向けの出力に関して

場合分けや行列や筆算などの数式を使う場合は「EasyReader対応形式」のチェックを外して出力してください。ただしEasyReaderでは表示中にスクロールしないなどの不具合が発生する場合があります。

また、「EasyReader対応形式」のチェックを入れて出力した場合、AMISとEasyReaderでは、1行の中に場合分けや行列や筆算などと、それ以外の数式やテキストが混在すると前後で強制改行される場合があります。(次のDAISY変換例を参照してください)



■DAISY変換例

「EasyReader対応形式」のON/OFFによる連立式・行列式・筆算のAMIS/EasyReaderでの表示は下記ようになります。

	単独の連立式	他の数式と混在	テキストと混在
ChattyInfty の編集画面	$\begin{cases} x\sqrt{y^3} = a \\ \sqrt[3]{xy} = b \end{cases}$	数式 $\begin{cases} x\sqrt{y^3} = a \\ \sqrt[3]{xy} = b \end{cases}$	テキスト $\begin{cases} x\sqrt{y^3} = a \\ \sqrt[3]{xy} = b \end{cases}$
OFFでの出力結果	$\begin{cases} x\sqrt{y^3} = a \\ \sqrt[3]{xy} = b \end{cases}$	数式 $\begin{cases} x\sqrt{y^3} = a \\ \sqrt[3]{xy} = b \end{cases}$	テキスト $\begin{cases} x\sqrt{y^3} = a \\ \sqrt[3]{xy} = b \end{cases}$
	いずれの場合もハイライト分割して表示可能です。 EasyReaderではハイライトに追従してスクロールできない等の不具合が発生します。		
ONでの出力結果	$\begin{cases} x\sqrt{y^3} = a \\ \sqrt[3]{xy} = b \end{cases}$	数式 $\begin{cases} x\sqrt{y^3} = a \\ \sqrt[3]{xy} = b \end{cases} \text{ ※1 ※2}$	テキスト $\begin{cases} x\sqrt{y^3} = a \\ \sqrt[3]{xy} = b \end{cases} \text{ ※1 ※2}$
	OFFと同じように各部分を分割してハイライト可能です。	ハイライト分割出来ませんが、前後にテキストがあると強制的に改行して表示されます。	

※1) VOD(iOS)では、テキストとの混在でも強制改行することはありません。

※2) ショート/ロングポーズもテキストとして処理されますので、同様に強制改行が発生します。

※上記図の数式の灰色枠線は説明のための表示です。実際には表示されません。